

縁達師の歌一首

一五三六番

夕よひに逢あひて 朝あした面おもなみ 名な張はり野のの 萩はぎは散ちりに
き 黄もみち葉ははや継つげ

山上臣憶良、秋野の花を詠む歌二首

一五三七番

秋あきの野のに 咲さきたる花はなを 指および折をり かき数かずふれば
七ななくさ種さの花はな

一五三八番

萩はぎの花はな 尾をばなくず花はな葛はな花はな なでしこが花はな をみなへし
また藤ふぢはかま袴はかま 朝あさ顔がほの花はな